

日本語指導 ワークショップ

井上 恵子

1. ねらい

児童生徒の発達段階と日本語力に応じた「日本語指導略案」を作成する。

2. グループ及び課題

グループ	日本語力	対象	課題及び教材	ページ
A 11人	初期指導	小学生 低学年	「ひろこさんのたのしいにほんご」 13課「えんぴつはいくらですか。」	6~7
B 10人	初期指導	小学生 中学年	「にほんごをまなぼう」 30課「ひなんくんれん」	8
C 7人	初期指導	小学生 高学年	「こどものにほんご 2」 28課「ひなまつり」	9~11
D-1 8人 D-2 8人	JSLカリキュラム 「国語科」	小学生 低学年	教育出版2年上 「すみれとあり」	12~13
E 8人	JSLカリキュラム 「算数科」	小学生 高学年	学校図書5年 「三角形と四角形」	14~18
F 11人	初期指導	中学生	「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 13課「ほんやでじしょをかいました」	19~23
G 8人	JSLカリキュラム 「国語科」	中学生	教育出版1年 「笑顔という魔法」	24~25

3. ワークショップの進め方

時 間	活 動 内 容
11:50～12:00	1. ワークショップの進め方についての説明を聞く。 ・ねらい ・グループ分け ・課題 ・時間配分 ・指導略案の作成方法及び留意点 ・発表方法 ・パソコン
13:00～15:00	1. グループに分かれて、課題についての指導略案を作成する。 (パソコンの「指導略案の形式」に書き入れる。) 2. 発表の準備をする。
15:10～16:10	1. グループ発表をする。 6分×8グループ (講評)

4. 指導略案作成上の留意点

- (1) 指導時間は小学校45分、中学校50分とする。
- (2) なるべく、4技能(聞く・話す・読む・書く)を入れる。
- (3) 過程の欄の()に時配を入れる。
- (4) 必要に応じて、日本語力に合わせて「リライト教材」を作成する。
- (5) 必要に応じて、補助資料として「翻訳教材」を活用する。
- (6) 必要に応じて、補助者との連携を図り、補助内容を明記する。
- (7) より分かりやすく、そして楽しく指導するための「教材・教具」を作成し、提示の仕方等、工夫する。

<用意してある用具等>

- ・模造紙
- ・画用紙(白・色)
- ・板目表紙
- ・中質紙(B4)
- ・フェルトペン
- ・色鉛筆
- ・折り紙
- ・割り箸
- ・セロハンテープ
- ・輪ゴム

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
A	初期指導	小学生 低学年 (4名)	『ひろこさんのたのしいにほんご』 13課「えんぴつはいくらですか」

1. 目標 買い物ごっこをすることによって、何十円、何百円などの簡単な買い物をすることができる。

買い物に必要な言葉を話したり、聞いたりすることができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 品物を並べて値段を決め、値札を作る。 ・前時に作った品物（絵カード）を並べる。 ・自分のお店屋さんで売る品物に値札をつける。	・前時に作った絵カードの名称の確認をさせる。 ・値札をつける際に、何十円、何百円等きりのいい数字を書くように声をかける。	絵カード 値札カード お金カード フェルトペン
展開 (30)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 買い物ごっこをしよう。 </div> 2 「お店の人（売る側）」と「お客さん（買う側）」に分かれる。 3 買い物ごっこをする。 4 買い物する時の言葉（売る側・買う側）を使う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> 売「いらっしゃいませ。」 買「（ ）をください。」 買「いくらですか。」 売「はい。（ ）えんです。」 売「おつりは（ ）えんです。」 売「ありがとうございました。」 </div>	・4人で行うので、2人ずつ「お店屋さん」と「お客さん」になるよう促す。 ・買い物をする時の言葉を黒板に貼っておく。 ・買い物をしている時に10円と40円で50円になることや、おつりの金額について助言する。 ・上手に買い物のやりとりができた児童を賞賛する。	買い物をする時の言葉の表 手作りのお金 10円 100円 1000円

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
B	初期指導	小学生 中学年	『にほんごをまなぼう』 30課「ひなんくんれん」

1. 目標 避難訓練の際のルールや避難の仕方を知る。
禁止命令の言葉「～な。」を理解する。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	1 今日では避難訓練について学習 することを確認する。 2 地震というものはどういうもの かを理解する。	・ 避難訓練とはどうい うものか、どうやっ て自分の身を守れば よいのかを話す。 ・ 地震と火事について 説明する。	サイレンの音 を録音したテ ープ 地震や火事の 写真や絵
展開 (25)	3 地震が起きたらどうしたらよ いかを考える。 「つくえのしたにもぐりなさい。」 「あたまをかくしなさい。」 4 火事が起きたときにどうした らよいかを考える。 「かじです。」 「ハンカチで、はなとくちをおお いましょう。」 5 避難の仕方を考える。 「ぼうさいずきんをかぶりましょ う。」 「ろうかにならびなさい。」 「うわばきのままそとへでましょ う。」 「せんせいのあとについてきなさ い。」 6 「おす。」「かける。」「しゃべる。」	・ 地震が起きたら机の 下に潜り、頭を守る ことを説明する。 ・ 防災頭巾をかぶり、 ハンカチで鼻と口を 覆う動作をやってみ せる。 ・ 廊下に並び、先生の 後について、うわば きのまま外に避難す ることを説明する。 ・ 子どもと動作化しな がら説明をする。 ・ 言葉カード、絵カー	防災頭巾 ハンカチ ペープサート 言葉カード

	<p>の意味を知る。</p> <p>7 「おすな。」「かけるな。」「しゃべるな。」の意味を知る。</p> <p>8 「～な。」の言葉の例を学習する。 「みるな。」 「さわるな。」 「たべるな。」 「のむな。」 「のるな。」</p> <p>9 「おす。」「おすな。」「かける。」「かけるな。」「しゃべる。」「しゃべるな。」をワークシートに書く。</p>	<p>ドを提示しながら子どもにも読ませて、言葉の理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しゃべる。」は「話す。」と同じ意味であることを理解させる。 ・×マークを使い、「～な。」がつくとそのことをやってはいけない禁止命令になるということを説明する。 ・意味の違いを考えながら書き取るよう、声をかける。 	<p>絵カード</p> <p>×マーク</p> <p>ワークシート</p>
<p>終末 (15)</p>	<p>10 「おすな。」「かけるな。」「しゃべるな。」の意味を復習する。</p> <p>11 実際に地震が起きたことを想定した避難訓練の練習をして、机の下にもぐれるかを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひなんのあいことば「お・か・し」から「おすな。」「かけるな。」「しゃべるな。」を連想させる。 ・今日学習した言葉を母語でも確認する。 	<p>言葉カード</p> <p>母語訳</p>



日本語指導略案

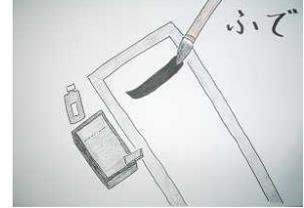
グループ	日本語力	対象	課題及び教材
C	初期指導	小学生 高学年	『こどものにほんご 2』 28課「ひなまつり」

1. 目標 内容説明の表現「～というのは」についての使い方を理解する。
ひなまつりについて知り、日本の文化への理解を深める。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (3)	1 ひなまつりについて話し合う。 ・写真や実物を見て、知っていることを話し合う。	・ひなまつりに関わる資料（写真や実物）を提示し、ひなまつりについての理解の助けとする。	写真 ひな飾り
展開 (10) (7)	2 ペープサートを使って会話をする。 ・教師と児童 ・児童同士 3 内容説明の表現「～というのは」について知る。 ・会話文から 「ひなまつりとは何？」 「女の子のおまつりで～」	・はじめに教師と児童で演示し、会話の内容をつかませる。 ・会話文の中の「～というのは」の表現を強調し、文の構成について知らせる。	ペープサート 電話
(13)	4 「～というのは」を使った表現の練習をする。 ・説明するものの絵を示しながら、「〇〇というのは、何ですか。」という表現の練習をする。 全体練習→ペア練習 ぼんおどり、こたつ、ふでてんどん、その他	・説明するものの絵を準備し、内容を理解しやすくする。 ・児童からも尋ねたいものを出させて、応用を図る。	絵 (盆踊り、こたつ、筆、天井など)
(3)	5 「～というのは」の表現について確認する。	・問いかけだけでなく、説明する表現でも使	

	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇というのは、何ですか。」 ・「〇〇というのは、～です。」 	<p>えることにふれる。</p>	
終末 (7)	<p>6 折り紙でおひなさまをおって楽しむ。</p> <p>7 逆接の表現「～のに」についてふれ、次時の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひなまつりの楽しい雰囲気を味合わせる。 ・会話文の中の「～のに」の表現にふれ、次時の予告をする。 	折り紙



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
D1	JSLカリキュラム「国語科」 日常会話が話せる程度	小学生 低学年 (3人)	教育出版 2年上 「すみれとあり」

1. 目標 ありがすみれのたねを見つけてからの様子を読み取る。
「どうやら〇〇のようです」の使い方を知り、短文を書くことができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<ol style="list-style-type: none"> 1 形式段落7～9の範読を聞く。 2 音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が理解できるようゆっくりと読む。 ・句読点に気をつけて読ませる。 	教科書

日本語指導略案

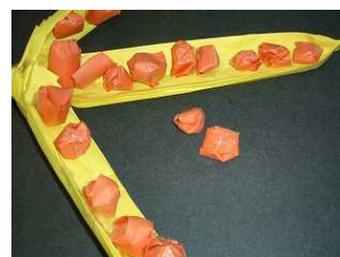
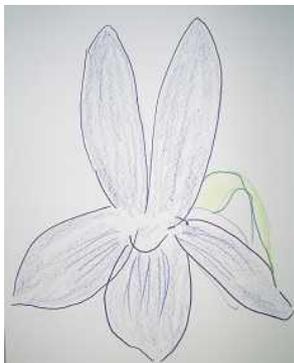
グループ	日本語力	対象	課題及び教材
D2	JSLカリキュラム「国語科」 日常会話に困らないが、学習の中で文章を理解したり、書いたりすることが難しい。	小学生 低学年 (3名)	教育出版2年上 「すみれとあり」

1. 目標 文章を読み，内容を理解する。
不足する語彙を補う。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 第3段落を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範読を行う。 ・ 不足する語彙を確認する。 	教科書
展開 (25)	<p>2 わからない言葉について理解する。</p> <p>3 理解した言葉を発音する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ み ・ たね ・ 三つにさけて ・ いきおいよく とびだす ・ さかせた あと ・ つぎつぎと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な語彙の理解について支援する。 ・ 「み」や「たね」は実物を用意して理解を助ける。 ・ 「さける」様子がわかる教具を用意する。 ・ 枝豆を用意し、種が飛び出す様子を見せる。 ・ 学級での学習の中でキーとなる語彙（順序を表す言葉）の理解について説明する。 ・ すみれの絵を用意して時系列に並べる。 ・ 子どもたちに順番に落ちる様子を動作化させる。 	<p>すみれの実種</p> <p>自作教具</p> <p>枝豆</p> <p>絵</p>

終末 (10)	3 掲示した絵の下に説明をしながら書く。	・文章を理解できたか を確認する。	絵
------------	----------------------	----------------------	---



日本語指導略案

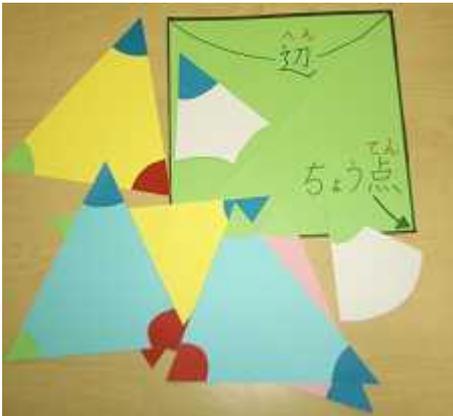
グループ	日本語力	対象	課題及び教材
E	JSL カリキュラム「算数科」 ・来日 2 年程度、日常会話はできる。 ・四則計算はできる。学習言語が不十分。	小学生 5 年生	学校図書 5 年 「三角形と四角形」

1. 目標 三角形の内角の和が180度であることがわかる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	(AU：前学年までの既習を確認する) 1 図形の名称（三角形、四角形、正方形、長方形、円）の確認をする。 T：三角形はどれですか？ T：正方形は？	・図形の色板を与え、イメージしやすくする。 ・実態に応じて「角」、「頂点」、「辺」の用語、90 度（直角）、180 度（直線）も確認する。	色板
展開 (30)	2 学習問題を読んで理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">三角形の三つの角をあわせると何度になるでしょう？</div> (AU：問題の意味を確認する) T：三つの角の場所はどこかな？ T：色を塗ってみよう。 3 解決のための方法を考える。 (AU：解決のための見通しを持つ) T：どうすれば分かるかな？ S：「分度器」を使って測ればいい ① 分度器を使って測定し、計算する方法。	・足し算の答えを「和」ということを確認しておく。 ・それぞれの角に色（赤・青・黄色）を塗らせ、ア、イ、ウと印をつけさせる。 ・「分度器」という用語も確認しておく。 ・分度器が正しく使えているか確認する。	三角形 (測りやすい角度の三角形) 色鉛筆 色画用紙 プロッキー ハサミ のり

	<p>70度、60度、50度 $70+60+50=180$</p> <p>② 三つの角を切り取って、頂点を一つに合わせる方法。 S：まっすぐ（線）になった！ T：まっすぐって何度？ S：180度</p> <p>4 様々な三角形の三つの角の和を求めろ。 (AU：類推して考える)</p> <p>T：ほかの三角形でも180度になるかな？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の一直線は180度になることを思い出させる。 鋭角三角形だけでなく、鈍角三角形も考えさせる。 	適用問題
終末(5)	<p>5 まとめの言葉を書く</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>三角形の3つの角の和は(180度)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 短冊の形にして、児童から発表できるようにする。 	



日本語指導略案

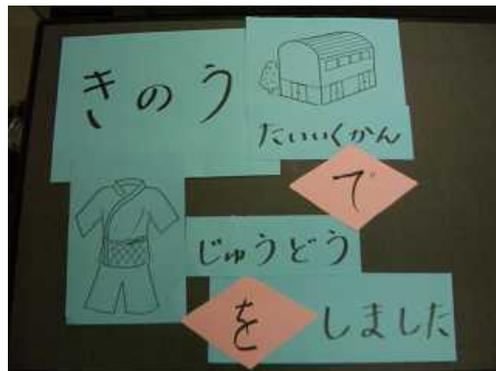
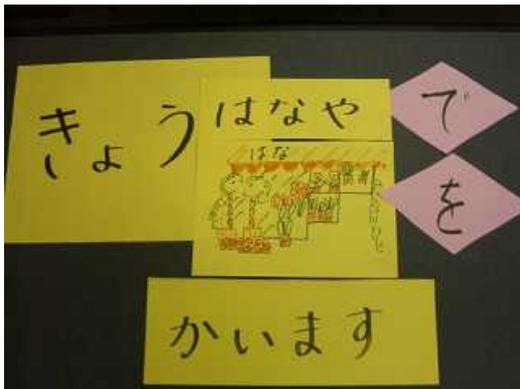
グループ	日本語力	対象	課題及び教材
F	初期指導	中学生	『Japanese for Young People』 13課「本屋で辞書を買いました」

1. 目標 昨日行ったことを日記に書くことができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 学習のめあてをつかむ。 ・昨日行ったことを日記に書く。 2 「場所」の絵を見て、場所の名前を確認する。 3 「物」の絵を見て、物の名前を確認する。	・今日の学習の目標(めあて)を確認する。 ・「場所」と「物」が分からないときは、ヒントを与える。	絵カード
展開 (33)	4 「場所」と「物」の名前を一致させる。 5 助詞を使って、文を作る。 6 「時間」の言い方を学習する。 7 「場所」「物」「時間」を組み立て、文を作る。 例1 ・昨日 <u>で</u> ～ <u>を</u> しました。 ・何時に <u>で</u> ～ <u>を</u> しました。 例2 ・10時に体育館でバスケットボール <u>を</u> しました。 ・2時に図書室で本 <u>を</u> 読みました。 ・教師が言った文を聞いて、カードを並べ替える。	・一致できないときは、ヒントを与える。 ・助詞の使い方、～ <u>に</u> 、～ <u>で</u> 、～ <u>を</u> を徹底させる。 ・「時間」、「場所」、「物」の表現が理解できたら、声に出して読ませる。 ・「時間」、「場所」、「物」に注意して聞きとるよう助言する。	助詞のカード

終末 (7)	・文が言えるようになったら、昨日自分が行ったことを2つノートに書く。	・「あなたは、昨日何をしましたか。」と質問して、ノートに書かせ、時間があったら、発表させる。	ノート
-----------	------------------------------------	--	-----



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
G	JSL カリキュラム「国語科」 日常会話はできるが、漢字は小学4年程度。	中学生	教育出版 1年 「笑顔という魔法」

1. 目標 笑顔の大切さを理解する。
文章の内容を把握する。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	<ol style="list-style-type: none"> 1 笑顔について考える。 2 笑うとどのような気持ちになるか考える。 3 文中の実験を実際にやってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・笑うとどのような気持ちになるか、またどんな気持ちの時に笑うか発問する。 ・笑ってから楽しい気持ちになる場合を例示する。 	4コマ漫画 ペン
展開 (35)	<ol style="list-style-type: none"> 4 教師の範読を聞き、読めない漢字に仮名をふる。 5 発問に答え、文の構成と内容を理解する。 6 一つ一つの単語や語句を理解する。 7 「楽しい」に関する言葉、「悲しい」に関する言葉をカードで分類する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を範読する。 ・段落ごとに要点を発問し、内容を確認させる。 ・ピックアップして語句を説明する。 ・単語カードを使い、意味ごとに分類させ、語彙を広げる。 	単語カード
終末 (10)	<ol style="list-style-type: none"> 8 笑顔がもたらす効果をことわざで再確認する。 9 宿題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「笑う門には福来る」を解説する。 ・課題について説明し次時への意欲を持たせる。 	宿題プリント



体	表	笑	笑	わ
操	情	顔	う	ら
竹まわりの顔				

